



## Quick Connect ワークフロー

---

- [Quick Connect ワークフロー \(1 ページ\)](#)
- [Quick Connect ワークフローを使用するための前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [Quick Connect ワークフローの制約事項 \(3 ページ\)](#)
- [Quick Connect について \(3 ページ\)](#)
- [Quick Connect ワークフローへのアクセス \(6 ページ\)](#)

## Quick Connect ワークフロー



(注) 簡素化と一貫性を実現するために、Cisco SD-WAN ソリューションは Cisco Catalyst SD-WAN としてブランド名が変更されました。さらに、Cisco IOS XE SD-WAN リリース 17.12.1a および Cisco Catalyst SD-WAN リリース 20.12.1 以降、次のコンポーネントの変更が適用されます。**Cisco vManage** から **Cisco Catalyst SD-WAN Manager** への変更、**Cisco vAnalytics** から **Cisco Catalyst SD-WAN Analytics** への変更、**Cisco vBond** から **Cisco Catalyst SD-WAN Validator** への変更、**Cisco vSmart** から **Cisco Catalyst SD-WAN コントローラ** への変更、および **Cisco コントローラ** から **Cisco Catalyst SD-WAN 制御コンポーネント** への変更。すべてのコンポーネントブランド名変更の包括的なリストについては、最新のリリースノートを参照してください。新しい名前への移行時は、ソフトウェア製品のユーザーインターフェイス更新への段階的なアプローチにより、一連のドキュメントにある程度の不一致が含まれる可能性があります。

---

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	説明
Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN デバイスをオンボードするための Quick Connect ワークフロー	Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.6.1a Cisco vManage リリース 20.6.1	この機能は、サポートされている WAN Edge デバイスを Cisco Catalyst SD-WAN オーバーレイネットワークにオンボードするための Cisco SD-WAN Manager におけるガイド付きの代替手法を提供します。Quick Connect ワークフローの一部として、基本的なゼロ構成プロファイルが作成されます。これは、デバイスモデルやデバイスファミリーに関係なく、すべての Cisco Catalyst SD-WAN (IOS XE) デバイスに適用されます。このワークフローにより、WAN トランスポートにエッジデバイスが追加され、データプレーンとコントロールプレーンの接続が確立されます。  この機能は、Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN デバイスでのみサポートされています。
デバイス展開時のリージョンとサブリージョンの指定	Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.13.1a Cisco Catalyst SD-WAN 制御コンポーネントリリース 20.13.1	デバイスを展開するときに、リージョンとサブリージョンの両方を指定できます。

## Quick Connect ワークフローを使用するための前提条件

- 組織名を設定する必要があります。
- Cisco SD-WAN Validator および Cisco SD-WAN コントローラ の証明書認証を設定する必要があります。
- コントローラ (Cisco SD-WAN Manager、Cisco SD-WAN Validator、および Cisco SD-WAN コントローラ) をインストールして設定する必要があります。



(注) これらのコントローラを設定していない場合は、Quick Connect ワークフローから Cisco SD-WAN Manager の[Administration] > [Settings] ウィンドウに移動し、前提条件の設定を完了します。

## Quick Connect ワークフローの制約事項

- Quick Connect ワークフローは、WAN 設定 (VPN 0) の指定に限定されています。Cisco Catalyst SD-WAN オーバーレイの起動プロセスを完了できるようにするには、サービス側 VPN テンプレートも構成する必要があります。

ネットワーク インターフェイスの設定の詳細については、「[Configure Network Interfaces](#)」を参照してください。

- Quick Connect ワークフローは、Cisco Catalyst SD-WAN Device (IOS XE) デバイスでのみサポートされています。
- Quick Connect ワークフローでは、一度に最大25のデバイスのデイズロ構成の作成がサポートされます。26以上のデバイスがある場合は、必要に応じてワークフローを複数回実行します。
- どの時点でも、同時に複数のワークフローを進行させることはできません。

## Quick Connect について

### Quick Connect ワークフローの概要

Cisco SD-WAN Manager の Quick Connect ワークフローでは、デバイスのファミリおよびモデルに関係なく、すべての Cisco IOS XE SD-WAN デバイスに適用できる基本的なデイズロ構成プロファイルが作成されます。このワークフローにより、WAN でコントロールプレーンとデータプレーンへのアクセスが確立されます。

Quick Connect ワークフローの動作は、デバイスを Cisco SD-WAN Manager にアップロードする方法によって異なります。次のいずれかの方法で、Quick Connect ワークフローの一部として、または個別に、デバイスをアップロードできます。

- 自動同期オプションを使用：スマートアカウントが Cisco SD-WAN Manager と同期されます。このオプションでは、Cisco SD-WAN Manager が Cisco Plug n Play (PnP) ポータルに接続する必要があります。
- 手動アップロード手法を使用：デバイスの認定シリアル番号ファイルを Cisco PnP ポータルからダウンロードし、Cisco SD-WAN Manager にアップロードします。

## サブリージョン

Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.13.1 以降、デバイスを展開するときにリージョンとサブリージョンの両方を指定できます。

# 自動同期を使用したデバイスのアップロード

デバイスを Cisco SD-WAN Manager にアップロードする自動同期方式は、クラウドコントローラを含む展開とオンプレミスコントローラを含む展開のどちらでも使用できますが、Cisco SD-WAN Manager がプラグアンドプレイ (PnP) ポータルに接続できることが条件です。

## 自動同期オプションが Cisco PnP で機能する仕組み

シスコチームが Cisco SD-WAN コントローラを設定して展開すると、注文に関連付けられた Cisco SD-WAN Manager 情報を含む電子メールが送信されます。このような場合にデバイスをオーバーレイネットワークに追加するには、次の手順に従います。

1. デフォルトのログイン情報 (admin/admin) を使用して Cisco SD-WAN Manager にログインします。
2. Cisco PnP ポータルから Cisco SD-WAN Manager にデバイス情報を転送するには、Cisco SD-WAN Manager でスマートアカウントまたは仮想アカウントを同期します。この手順には、バーチャルアカウント管理者ロールのシスコクレデンシャルが必要です。WAN エッジルータのシリアル番号のアップロードの詳細については、[Upload WAN Edge Router Serial Numbers from Cisco Smart Account \[英語\]](#) を参照してください。



---

(注) PnP ポータルに新しいデバイスを追加するたびに、Cisco SD-WAN Manager をスマートアカウントまたは仮想アカウントと再同期して、新しいデバイスが Cisco SD-WAN Manager に表示されるようにする必要があります。

---

デバイス情報が Cisco SD-WAN Manager に転送されたら、Cisco SD-WAN Manager オーバーレイを設定できます。



- 
- (注) Cisco PnP ポータルと、Cisco SD-WAN Manager のオンボーディングデバイスにおけるその役割の詳細については、次の参考ドキュメントを参照してください。
- [Cisco Plug and Play Support Guide for Cisco SD-WAN Products](#)
  - [Plug n Play Onboarding Workflow](#)
-

### 自動同期オプションが ZTP で機能する仕組み

サポートされている WAN エッジデバイスが Cisco ゼロタッチプロビジョニング (ZTP) に登録されている場合、デバイスのオンボーディングは自動化され、デバイスは Cisco SD-WAN Validatorによって認証されます。

ZTP を使用する場合、デバイスを箱から出した後、その WAN ポートをネットワークに接続し、DHCP からの IP 設定が構成されていることを確認します。これには、IP アドレス、マスク、ゲートウェイ、および DNS の設定が含まれます。次にデバイスは Cisco PnP ポータルのインベントリを認識している ZTP サーバーを探します。次に ZTP サーバーはデバイスを認証し、さらなる認証のために Cisco SD-WAN Validator にリダイレクトします。



- (注) vEdge ルータをオーバーレイネットワークに自動的に参加するように設定する方法については、「[Prepare Routers for ZTP](#)」を参照してください。

### 自動同期オプションを使用してオンボードされたデバイスの表示方法

自動同期オプションのいずれかを使用して (Cisco ZTP または Cisco PnP を介して) デバイスを Cisco SD-WAN Manager にアップロードすると、Quick Connect ワークフローの最後に、**[Monitor]** > **[Overview]** からアクセス可能な Cisco SD-WAN Manager ダッシュボードにデバイスが表示されます。

Cisco vManage リリース 20.6.x 以前：自動同期オプションのいずれかを使用して (Cisco ZTP または Cisco PnP を介して) デバイスを Cisco SD-WAN Manager にアップロードすると、Quick Connect ワークフローの最後に、**[Dashboard]** > **[Main Dashboard]** からアクセス可能な Cisco SD-WAN Manager ダッシュボードにデバイスが表示されます。

## デバイスの手動アップロード

次の場合、デバイスを Cisco SD-WAN Manager に手動でアップロードすることを選択できます。

- スマートアカウントを Cisco SD-WAN Manager と同期する必要がある自動同期オプションを使用したくない
- Cisco SD-WAN Manager インスタンスが Cisco PnP ポータルに接続できない

### デバイスの手動アップロードの方法

デバイスを Cisco SD-WAN Manager に手動でアップロードするには、次の手順を実行します。

1. Cisco PnP ポータルから認定シリアル番号ファイルまたはプロビジョニングファイルをダウンロードします。このファイルは、PnP ポータルで入手できます (**[Controllers]** > **[Provisioning File]**)。



- (注) Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.13.1a 以降、Cisco Catalyst SD-WAN のブランド変更との一貫性を保つために、[Controllers] タブの名前が [Control Components] タブに変更されました。
2. 認定シリアル番号ファイルを Cisco SD-WAN Manager に手動でアップロードすることにより、デバイス情報を Cisco SD-WAN Manager に転送します。WAN Edge ルータシリアル番号の手動アップロードの詳細については、『[Upload WAN Edge Router Authorized Serial Number File](#)』を参照してください。

#### デバイスを手動アップロードするときの Quick Connect の動作

手動の手法でデバイスを Cisco SD-WAN Manager にアップロードする場合、Quick Connect ワークフローによって生成される CLI ブートストラップ構成を使用してデバイスを展開するまで、それらは Cisco SD-WAN Manager ダッシュボードに表示されません。

ブートストラップ方式では、工場出荷時の WAN Edge デバイスを、安全に展開して Cisco Catalyst SD-WAN ネットワークに参加させるために必要な構成でオンボードできます。



- (注) CLI ブートストラップ設定を使用して Cisco Catalyst SD-WAN デバイス (IOS XE) を展開する完全な手順については、『[On-Site Bootstrap Process for Cisco SD-WAN Devices](#)』を参照してください。

## Quick Connect ワークフローへのアクセス

1. Cisco SD-WAN Manager のメニューから、[Workflows] を選択します。
2. 新しい Quick Connect ワークフローを開始：[Library] 領域で、[Quick Connect] を選択します。  
または  
進行中の Quick Connect ワークフローを再開：進行中の領域で、[Quick Connect] をクリックします。



- (注) 手動アップロード方式でデバイスを Cisco SD-WAN Manager にアップロードする場合は、Quick Connect ワークフローが生成する CLI ブートストラップ設定を使用してデバイスを展開するという追加の手順を完了する必要があります。デバイスにロードするブートストラップ設定ファイルの生成の詳細については、[On-Site Bootstrap Process for Cisco SD-WAN Devices](#) を参照してください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。